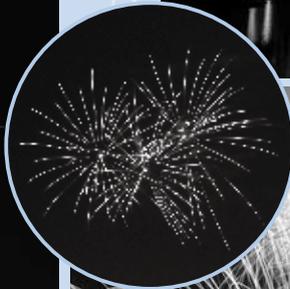


ひとまち ふおとニュース

夏を締めくくる夜空の花

8月29日に伊佐沼で開催された小江戸川越花火大会。徳川家康公没後400年事業として行われた今大会は、約7,800発の花火が打ち上げられ、集まった約90,000人を魅了しました。

心配されていた雨も上がり、心地よい風が吹く中、水面に広がる大迫力の水中スターマイン、伝統の技が光る芸術花火、音楽に合わせ光の花が咲く音楽スターマインなどが打ち上がり、歓声と拍手が沸きました。「沼で打ち上げられる花火は初めてで楽しみにしていました」「目の前で広がる花火に感動しました」と、都内から来た方も市民の方も満足そうに話していました。



環境にやさしい行動を目指して6
環境月間ポスターを描いて、見て、考えて

環境政策課 ☎224-5866

市では、毎年市内の小中学生を対象に「川越市環境月間ポスターコンクール」を実施しています。「環境月間」とは、6月5日の「環境の日」を含む6月の1か月間のことで、環境保全に対する関心を高め、啓発活動を図るさまざまな事業・行事などが全国的に行われています。

このコンクールは環境月間事業の一環として、環境について考えながらポスターを制作することで、環境問題について理解を深めてもらいたいという願いから、平成7年から始まった取り組みです。

平成27年度は、343人の小中学生から応募がありました。

8月2日につばさ館で行われた入選作品の展示会には、世代を超えた684人もの方が訪れ、その出来栄に感嘆していました。



展示会の様子



特賞のポスター（左：中学生の部 富士見中学校3年 中島可蓮さん／右：小学生の部 福原小学校2年 佐藤麗奈さん）

今後このような取り組みを通じて、川越の未来を担う子どもたちが環境に対する関心を高め、自然を慈しむ豊かな心を育ててくれることを願っています。これから、皆さんの力作をお待ちしています。